

水土里情報システムは様々な用途に使えるシステムとして、今日まで多くの団体にご利用頂いております。ここでは、日頃から水土里情報システムをご利用いただいている皆様からお寄せいただきました活用事例をいくつか抜粋して紹介いたします。

JAにおける活用

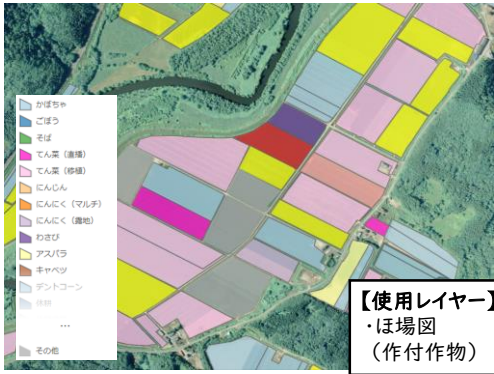
作付状況の確認

<活用方法>

- ・ 作付状況の現地確認調査および調査結果の「見える化」と管理

<利用者からの声>

- ・ 年度毎に作付状況をシステムに登録し、各ほ場の作付作物を経年管理しているため、輪作体系の把握に利用できる
- ・ 営農指導や現地調査時にタブレットを活用している



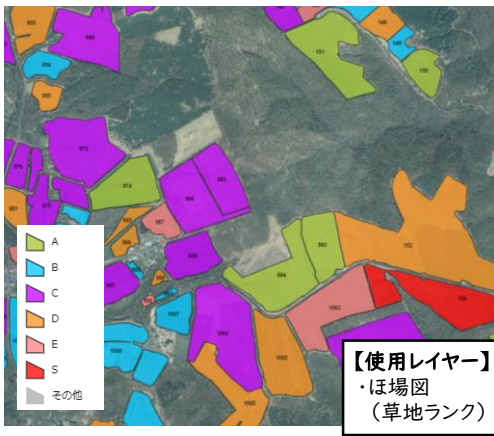
草地の植生調査と更新管理

<活用方法>

- ・ 植生調査の結果をシステムに登録し「見える化」することで、草地管理に活用
- ・ 組合員との打合わせにタブレットを使用し、調査結果を説明

<利用者からの声>

- ・ 市町村が更新するデータを共有できるため、業務を進める上で必要な情報をすぐに確認することができる
- ・ JA、市町村、農業委員会が同じシステムを利用できるため、資料の作成等で整合性が図られ、打合せ時の情報伝達がスムーズになった



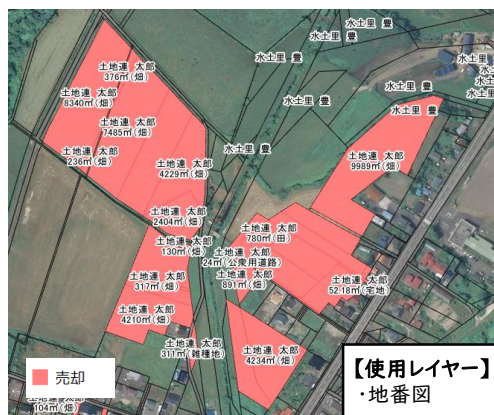
営農指導・経営支援

<活用方法>

- ・ 営農指導や経営支援に係る各種資料の作成
- ・ 水田活用に係る検討資料の作成

<利用者からの声>

- ・ 特定地番の着色や、レイヤーの表示色変更等、説明資料を作成する上で自由度が高くて便利
- ・ 検索機能を利用することで、より早く目的の土地やほ場が見つけられる



水土里情報に関するご意見ご要望等は、以下にお問合せください。

水土里ネット北海道 技術部 地域支援課

T E L : 011-206-6209 (課直通) E-mail : midorijoho3@htochiren.jp ホ-ム-ペ-ジ URL : <http://www.htochiren.jp/midorijoho/midorijoho.html>